

# GUIDER ZERO

Version 2.3.0.0

## 改良内容のご紹介



本書では代表的な改良内容をご紹介します。

その他の改良内容につきましては、別紙「アップデート一覧」を合わせてご覧ください。

また機能の詳細につきましては、ソフトウェアご利用中の F1 キーやメニュー [ヘルプ] からヘルプを参照してください。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標または登録商標です

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です

このソフトウェアは Apache 2.0 ライセンスで配布されている製作物が含まれています <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

## はじめに

いつも弊社製品をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

GUIDER ZERO の最新バージョン Version 2.3.0.0 の改良内容をご紹介します。

### このバージョンの概要

#### カメラデバイスの利用

ハードウェアに搭載されているカメラデバイスを利用して写真撮影が行えるようになりました。

撮影した写真は、測点に「撮影情報」として登録することが可能で、「測点情報の表示」機能を利用して画面上から素早く内容を確認できます。また、観測中に写真撮影することも可能で、観測と同時に写真撮影と撮影情報の登録を行えます。

TOWISE の「GUIDER ZERO データのインポート」では、測点の撮影情報に登録された写真を成果バインダーに登録することもでき、TOWISE でより付加価値のある成果を作成することができるようになります。

#### 入力支援ツール

現場での文字入力を減らすことを目的とした、GUIDER ZERO の入力部全般で利用可能な文字入力支援ツール「文字入力アシスト」を搭載しました。事前に複数の単語を支援ツールに登録し、現場では文字入力せずに登録した単語を自由に組み合わせた文字列を入力部に設定できます。従来のタッチキーボードからの文字入力に比べて、より簡単に文字列を指定できます。

#### 矩形観測

矩形の3点を観測して、矩形地物の現況データを登録する「矩形観測」機能を搭載しました。

TS/GNSS 観測で利用可能で、矩形の1辺の両端点と矩形の幅となる点の3点の観測から正確な矩形の現況データを登録することができます。今までの四隅を観測する手法に比べて、正確な矩形地物の現況データを効率よく登録できます。

#### その他改良

そのほか、断面情報が登録された SIMA ファイルから変化点やピッチ割点などを平面展開する「現況横断展開」や、測点名称入力部での簡易名称テンキー対応、SOARS+/GUIDER+のパーツデータ取り込み、スマートポップアップなど、多くの機能を搭載しました。ぜひ、ご利用ください。

なお、本書では代表的な改良内容をご紹介します。

GUIDER ZERO Ver.2.3.0.0 のその他内容につきましては、別紙「アップデート一覧」を合わせてご覧ください。

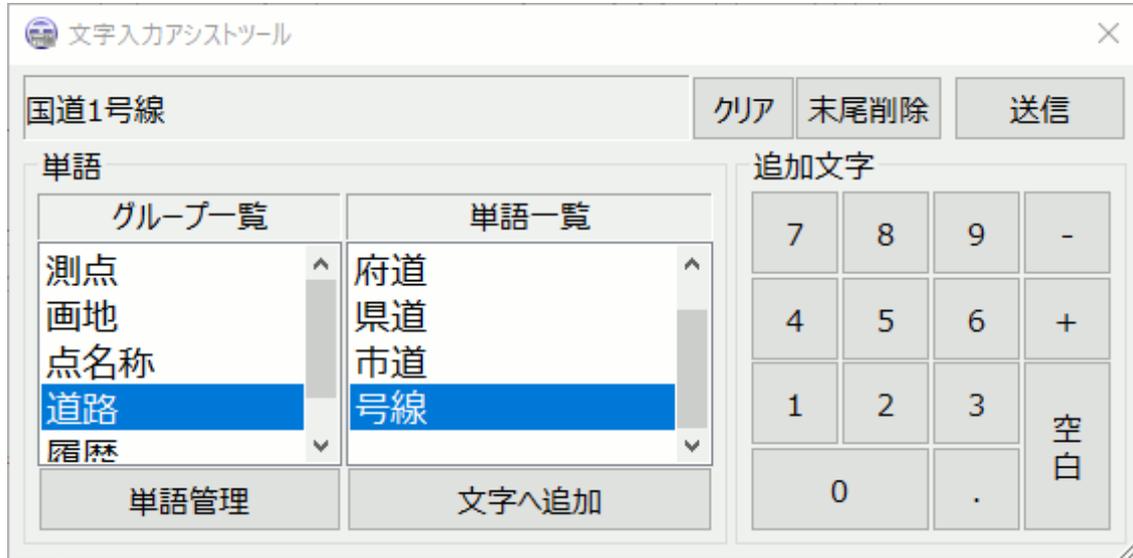
<b>GUIDER ZERO 新規機能およびコマンドのご紹介 .....</b>	<b>- 5 -</b>
文字入力アシスト.....	- 5 -
撮影情報登録 .....	- 7 -
現況横断展開 .....	- 9 -
スマートポップアップ .....	- 10 -
環境設定（スマートポップアップ設定） .....	- 10 -
バルーンコマンド.....	- 11 -
<b>機能改良のご紹介 GUIDER ZERO 基本機能.....</b>	<b>- 12 -</b>
TS 観測/NMEA 観測 矩形観測.....	- 12 -
測点 DB 撮影情報対応 .....	- 13 -
測点情報の表示 撮影情報対応 .....	- 14 -
測点名称の簡易テンキー対応 .....	- 15 -
<b>機能改良のご紹介 GZ-MAX .....</b>	<b>- 16 -</b>
測量文字編集 引出記入対応.....	- 16 -
重なり文字検索 引出記入対応.....	- 16 -
<b>機能改良のご紹介 GZ-SKY Controller.....</b>	<b>- 17 -</b>
GNSS 観測 矩形観測 .....	- 17 -
<b>TOWISE 新規機能のご紹介 .....</b>	<b>- 18 -</b>
SOARS パーツデータの取り込み.....	- 18 -
<b>TOWISE 機能改良のご紹介 .....</b>	<b>- 19 -</b>
GUIDER ZERO データのインポート.....	- 19 -
GUIDER ZERO データのエクスポート.....	- 19 -
<b>ご注意.....</b>	<b>- 20 -</b>
● 動作環境について .....	- 20 -
● データの互換性について.....	- 20 -
● 標準ユーザー権限での利用について .....	- 20 -

# GUIDER ZERO 新規機能およびコマンドのご紹介

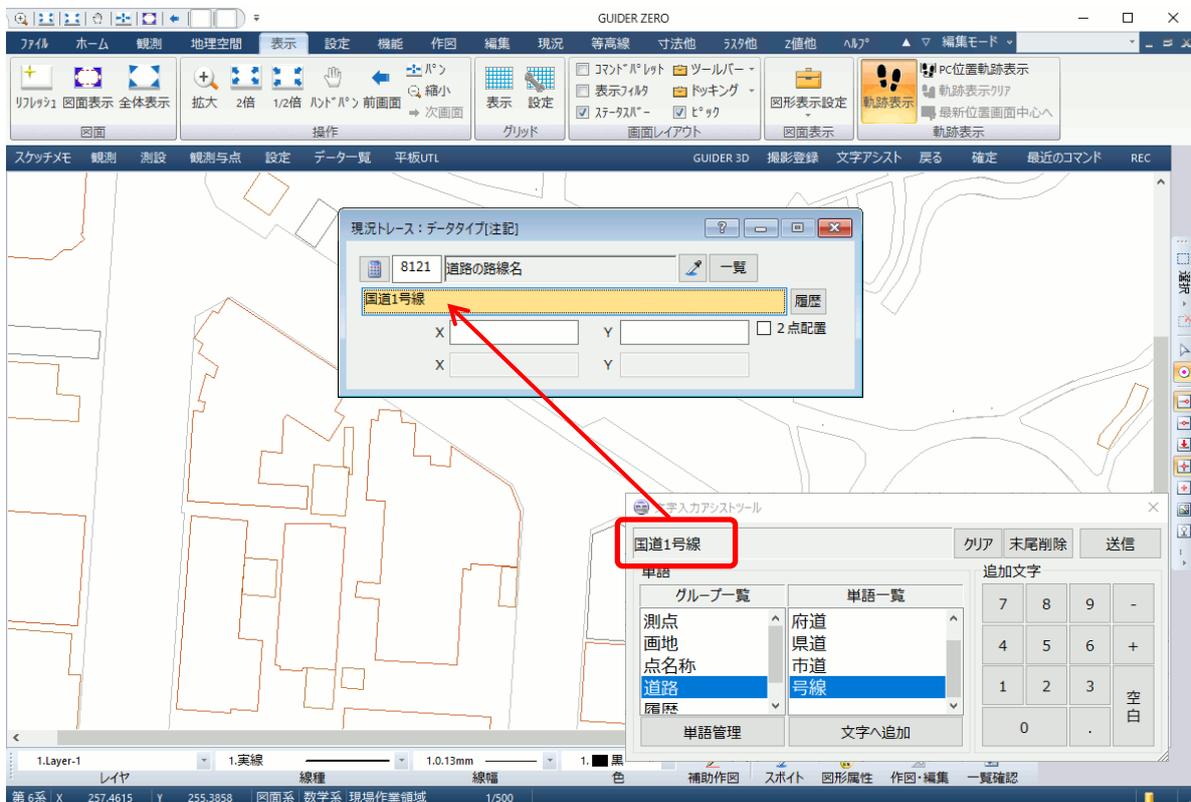
## 文字入力アシスト

基本機能

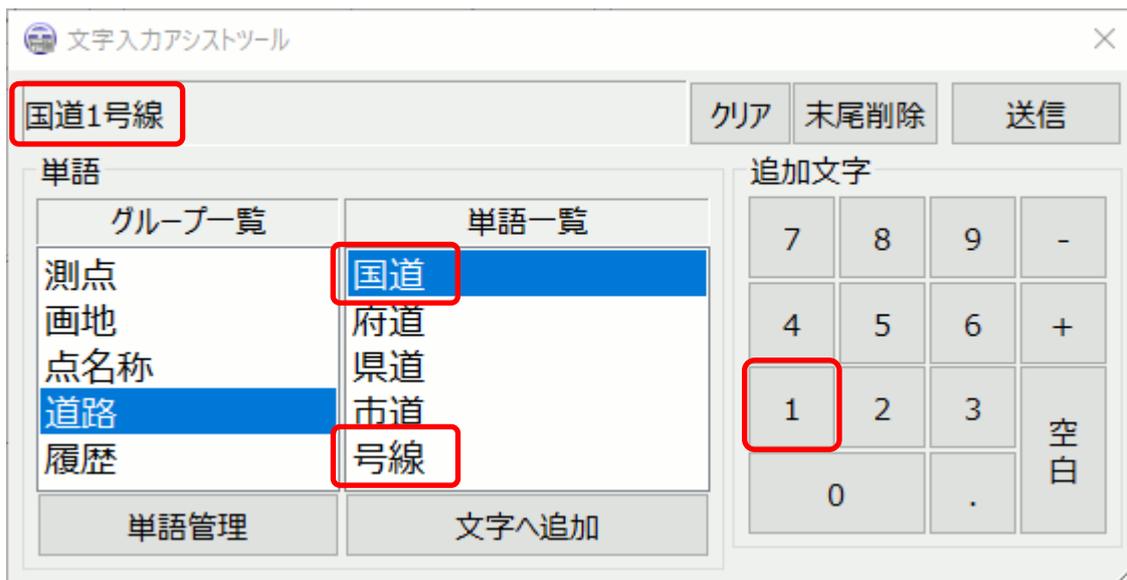
事前に登録した単語や文字の履歴をペン操作により簡単に入力部にセットできる「文字入力アシストツール」機能を追加しました。各種コマンドや DB シート、観測中の入力エディット等で利用できます。



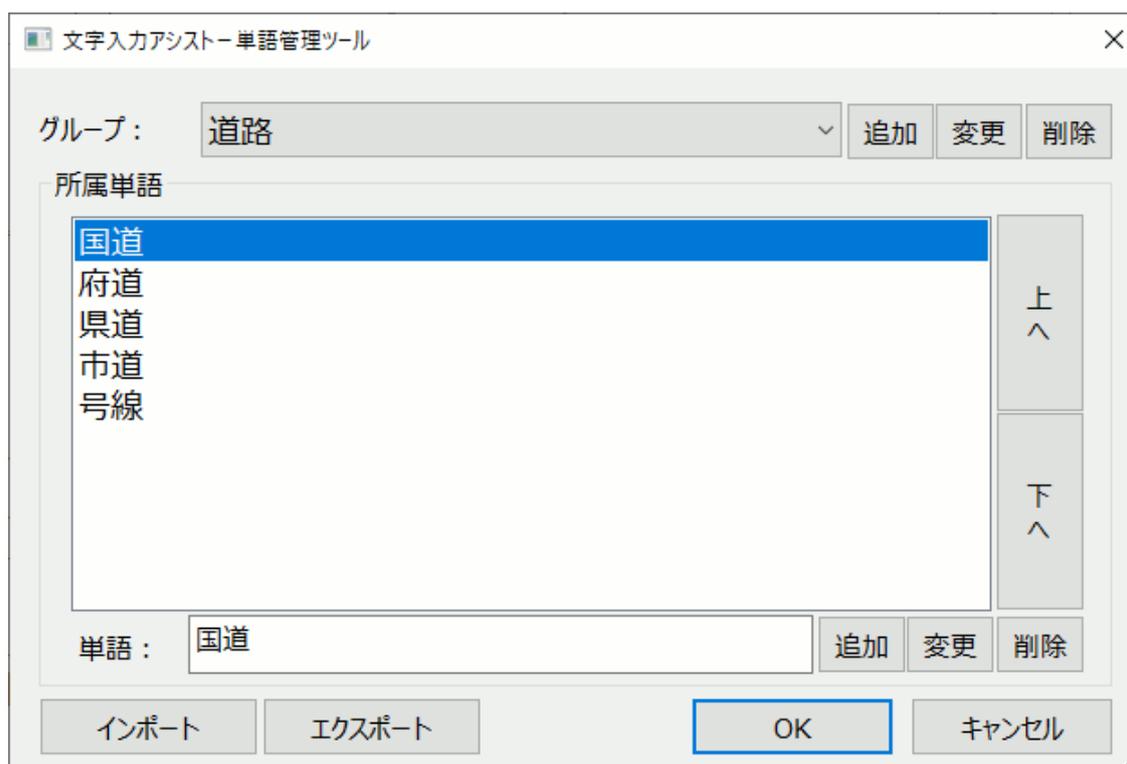
現場でタッチキーボードを使って文字入力する必要が無い為、効率よく作業できます。



事前に登録した単語を組み合わせて、さまざまな文字列を作成できます。



《単語管理》をタップすると、利用する単語の管理ツールを表示します。

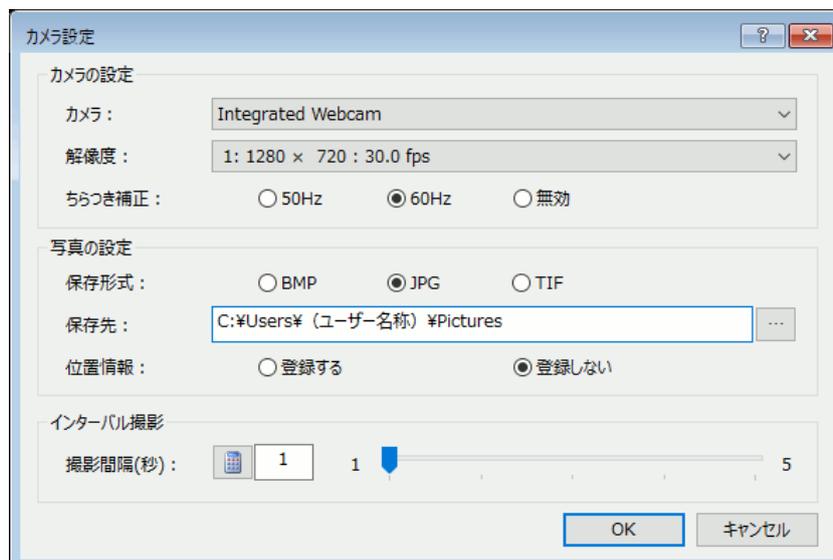


単語管理のデータは外部へ保存することも可能で、複数台の GUIDER ZERO で同じ設定を利用できます。

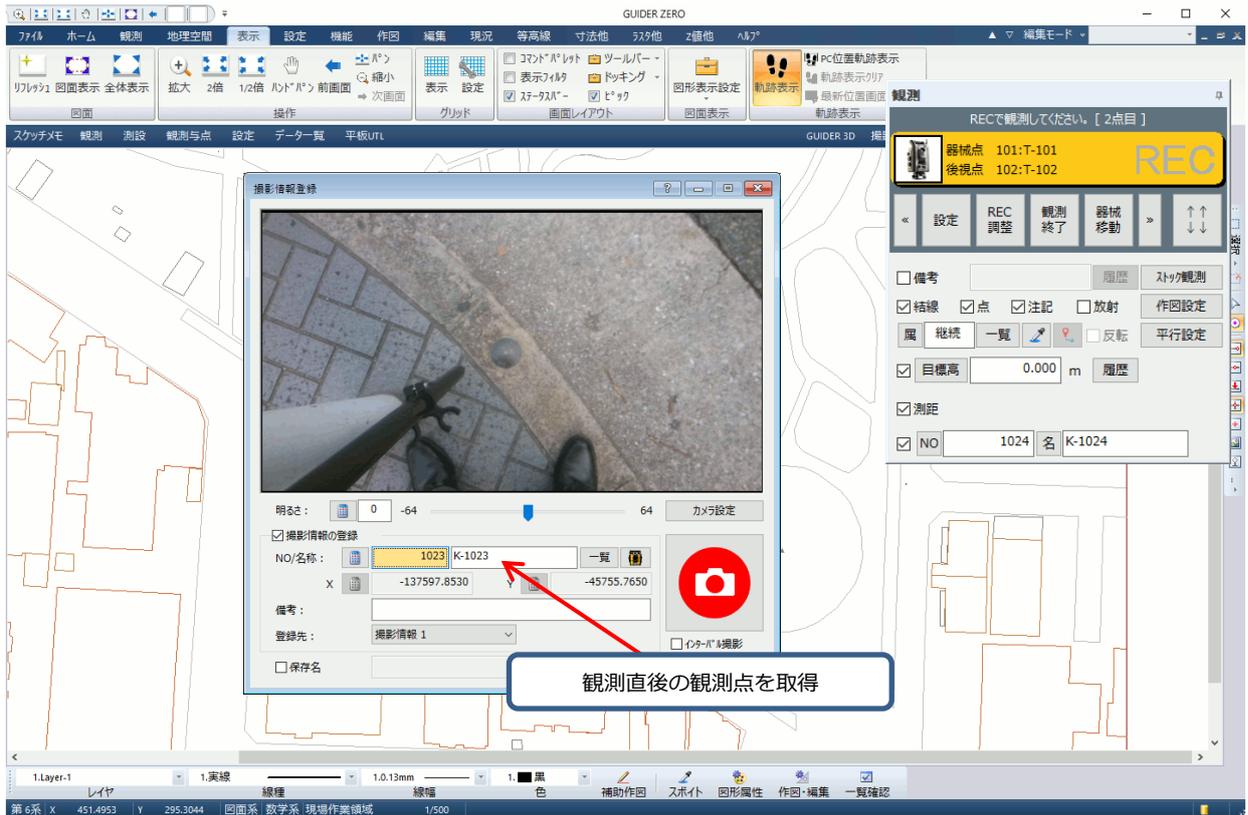
バンドル PC に搭載されているカメラデバイスを利用して写真撮影するコマンドを追加しました。  
 撮影した写真は測点に撮影情報として登録可能で、測点 DB の「撮影情報設定」や測点情報の表示機能で内容を素早く確認できます。



解像度や保存形式を設定して写真を撮影できます。



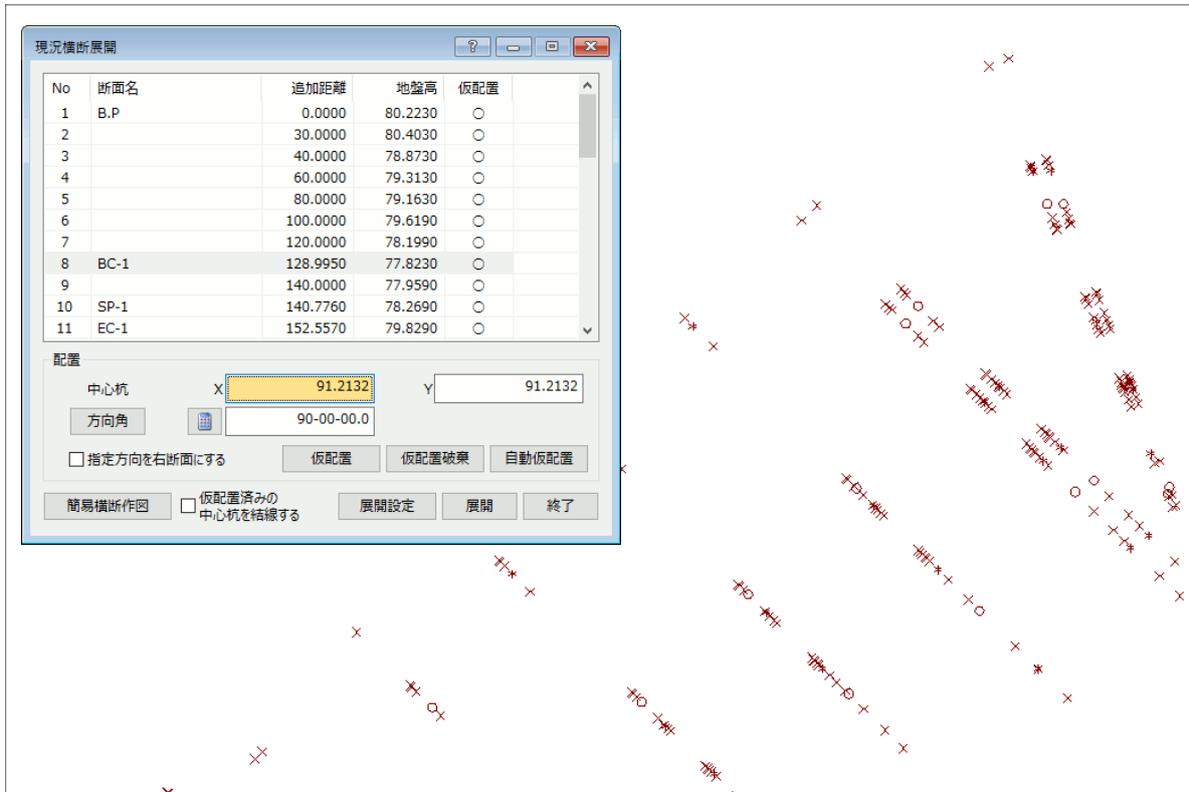
観測中の場合、最終観測点を素早く取得して撮影を行うことが可能で、「観測+観測点の撮影」をスムーズに作業できます。



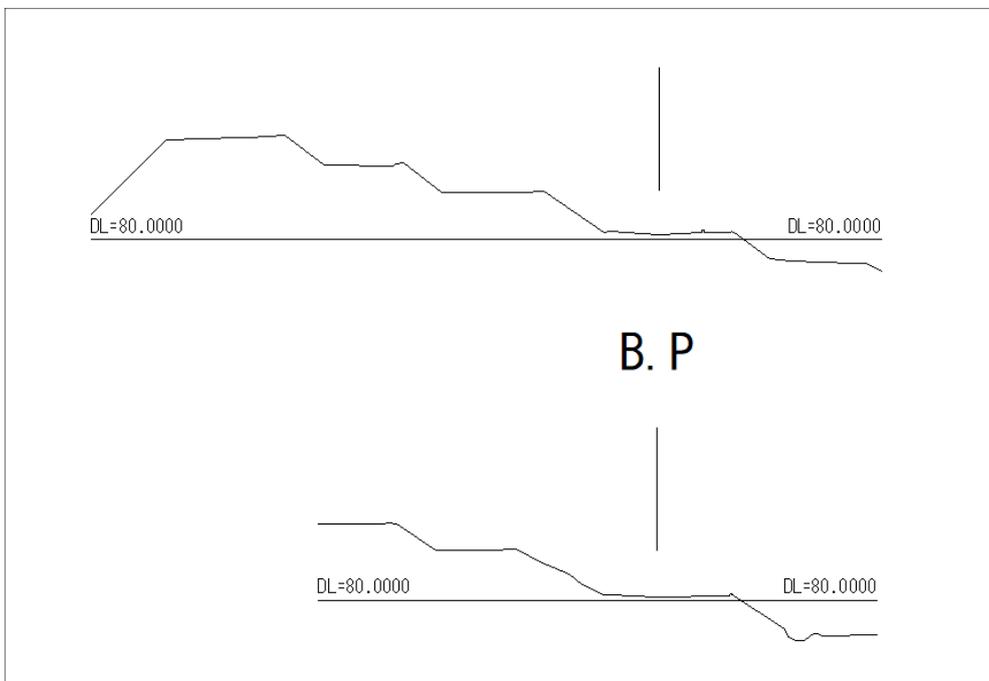
撮影した写真は、測点 DB の撮影情報として登録します。



横断成果 SIMA ファイルから、変化点やピッチ割り点などを平面展開するコマンド「現況横断展開」を追加しました。



現況横断の簡易断面図も作図できます。



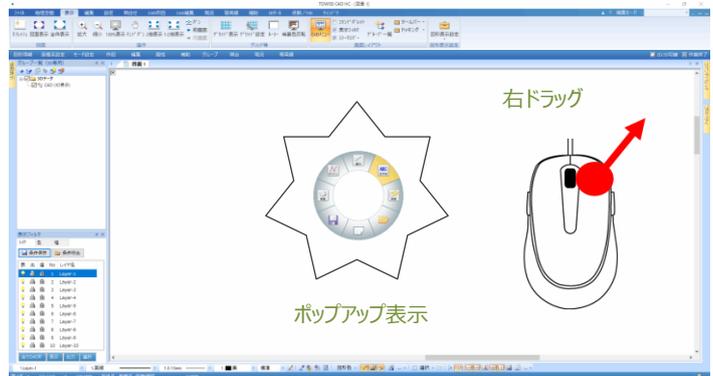
## スマートポップアップ

基本機能

自由にカスタマイズ可能なスマートポップアップ機能を追加しました。  
マウスの右ボタンをドラッグまたはダブルクリックで表示できます。



使用頻度の高いコマンドを8個まで登録



## 環境設定 (スマートポップアップ設定)

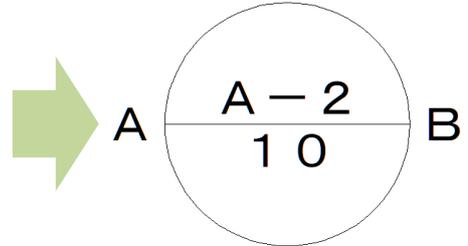
基本機能

スマートポップアップをカスタマイズするための「スマート設定」を追加しました。



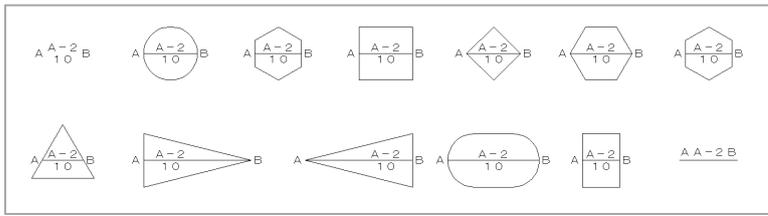
スマートポップアップで利用する機能を登録 (カスタマイズ可能)

数字や文字を自動的にカウントアップさせてスタンプ感覚でバルーン形状と文字を作図するコマンドを追加しました。バルーン形状は13種類から選択でき、作図様式等も細かく指定できます。



上下前後の文字を指定（自動カウントアップするしないを設定）

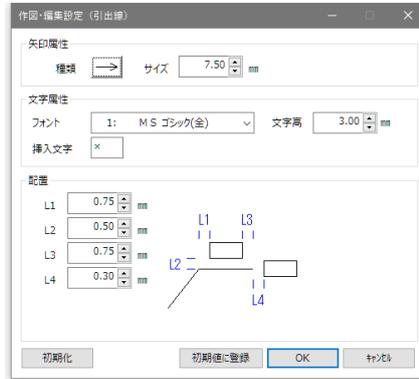
<作図例>



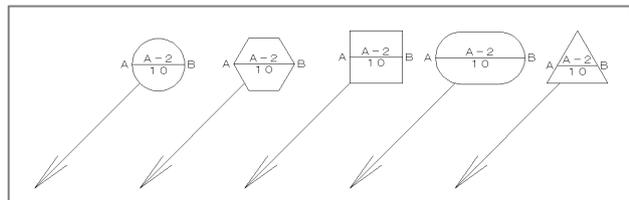
- 形状なし
- 円形
- 多角形
- 正方形
- 菱形
- 六角形(横)
- 六角形(縦)
- 三角形
- 三角形(右向き)
- 三角形(左向き)
- 楕円形
- 長方形
- 下線

様々なバルーン形状を作図できます（13種類）

<作図設定/作図・編集設定(引出線)>



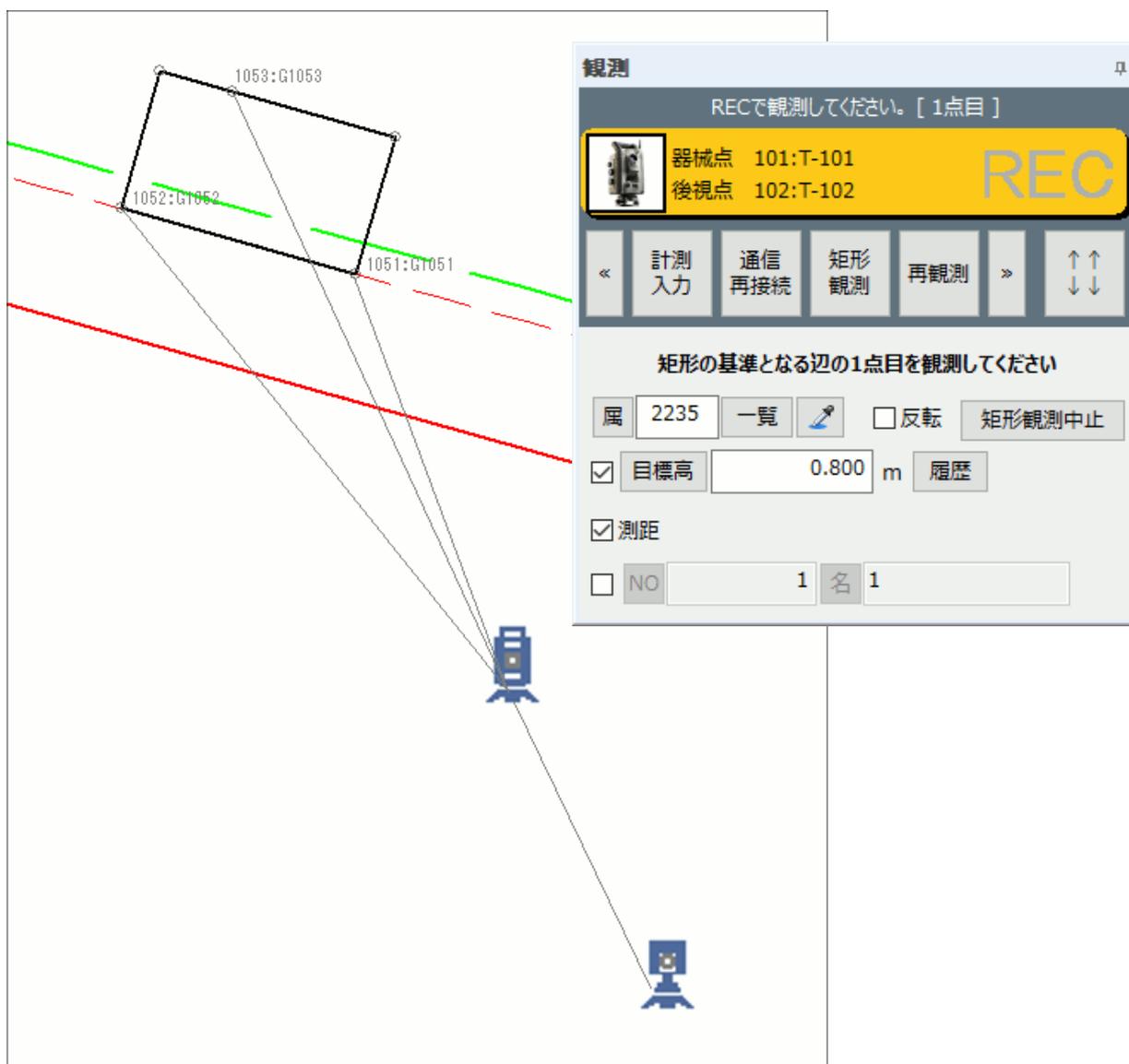
文字のフォントや色等を指定できます



引き出し付きバルーン形状も作図できます

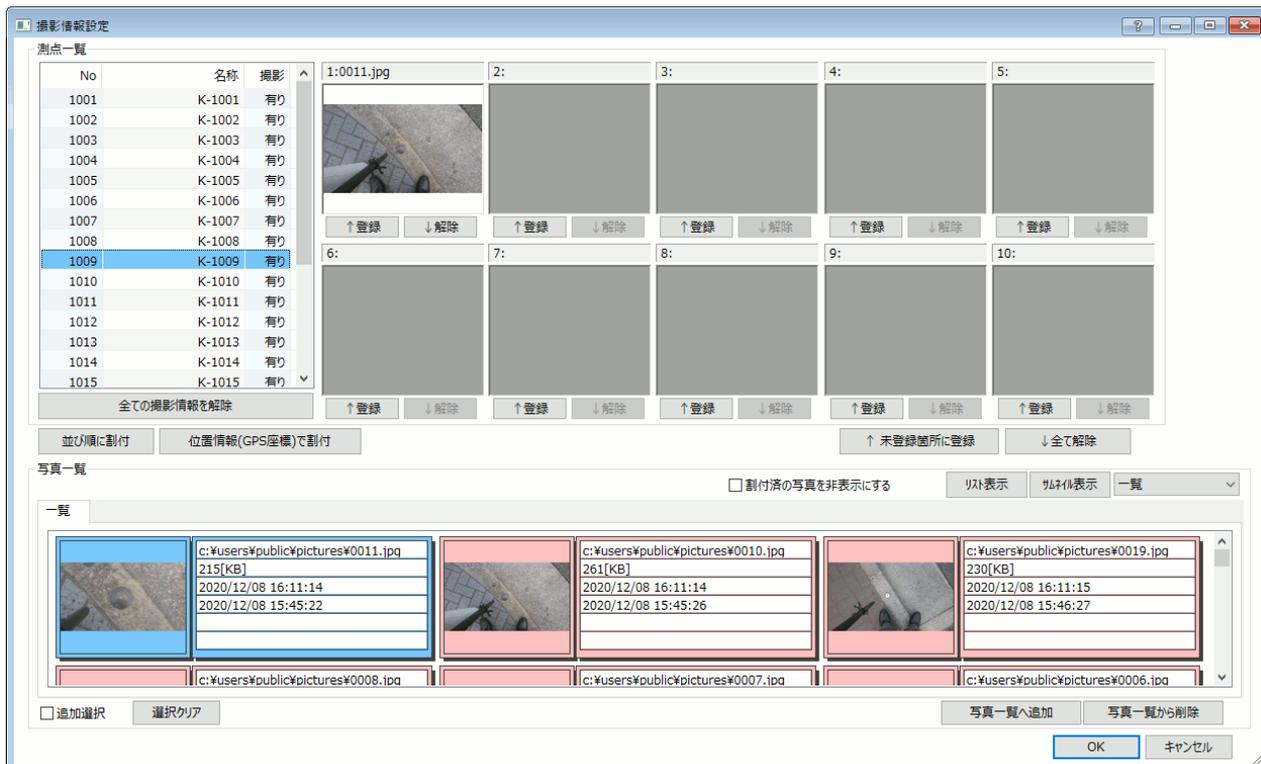
TS 観測/NMEA 観測 矩形観測

矩形の3点を観測して、矩形地物の現況データを効率よく登録できる「矩形観測」機能を追加しました。



矩形の1辺の両端点と幅となる1点を観測して、正確な矩形地物の現況データを登録します。

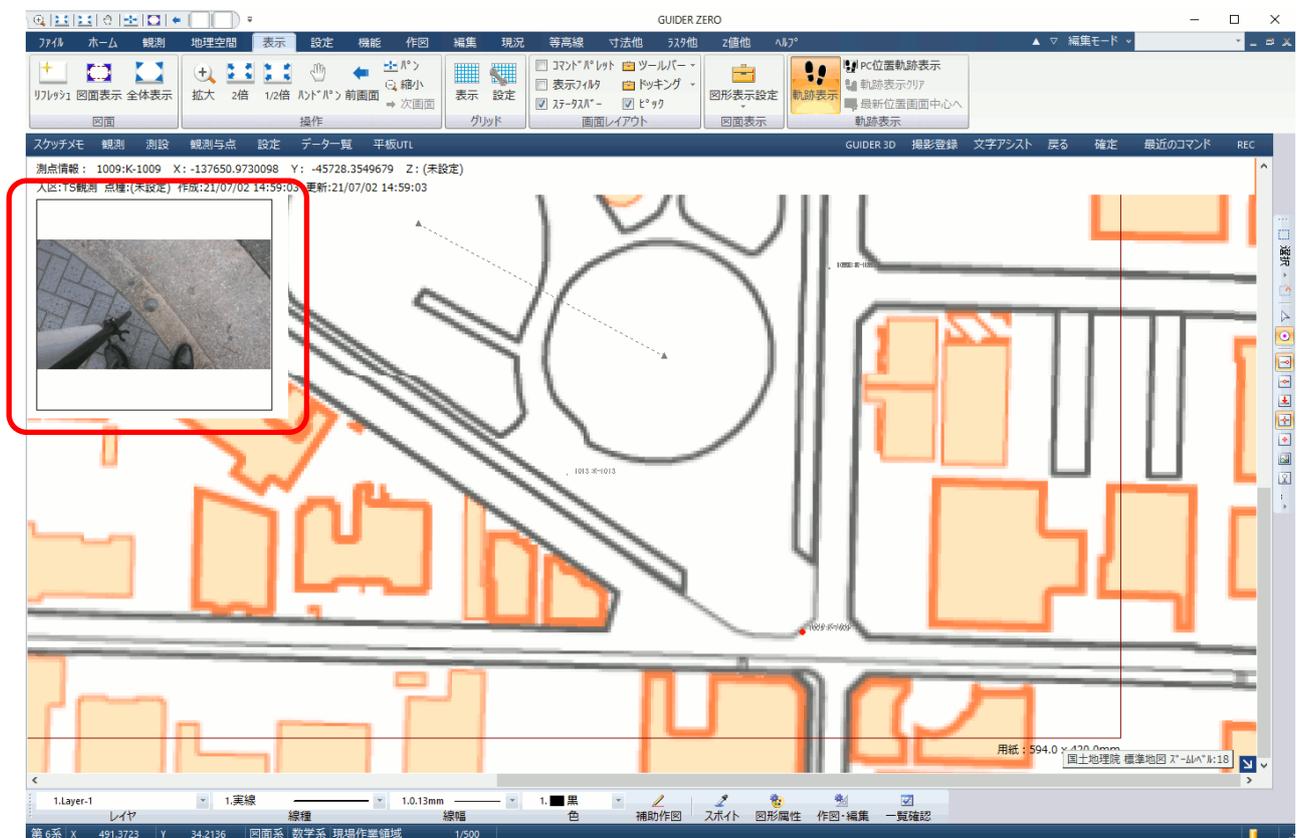
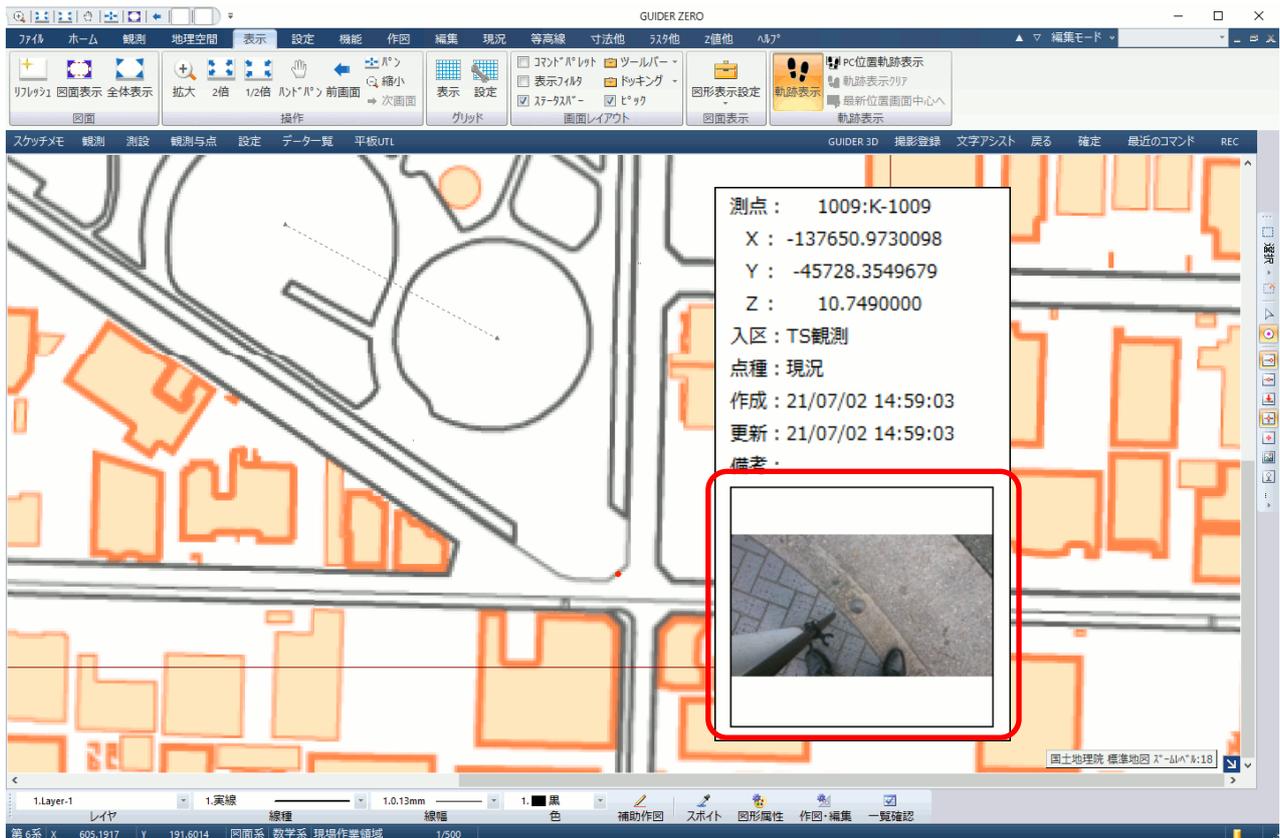
測点に撮影情報を保持する機能を追加しました。



1 測点に対して 10 個の撮影情報を登録することが可能で、PC 内に保存されている写真や画像ファイルを設定できます。本バージョンで追加されたコマンド「撮影情報登録」を利用することで、撮影しながら測点に対して撮影情報を登録できます。

登録した撮影情報は、TOWISE の「GUIDER ZERO データのインポート」で取得できます。

測点に登録された撮影情報の画像を表示する機能を追加しました。



測点 DB の撮影情報設定を開くことなく、素早く撮影した写真を確認できます。

測点名称の入力部で素早く入力できる簡易テンキーを用意しました。



簡単な数字や記号などを入力できます。

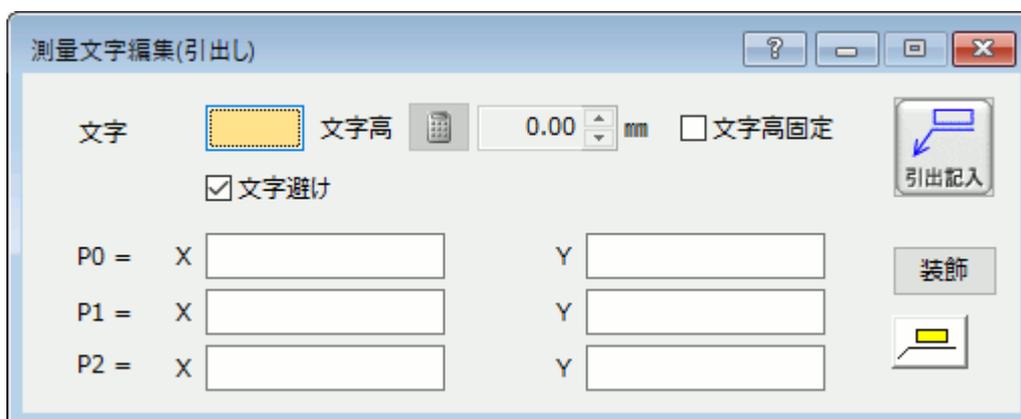
観測以外でも、以下のコマンドに用意しています。

- 測点 DB の入力コントロールパネル
- 測点登録
- 4点交点登録
- オフセット点登録

## 測量文字編集 引出記入対応

GZ-MAX

編集モードとして「引出記入」の機能を追加しました。

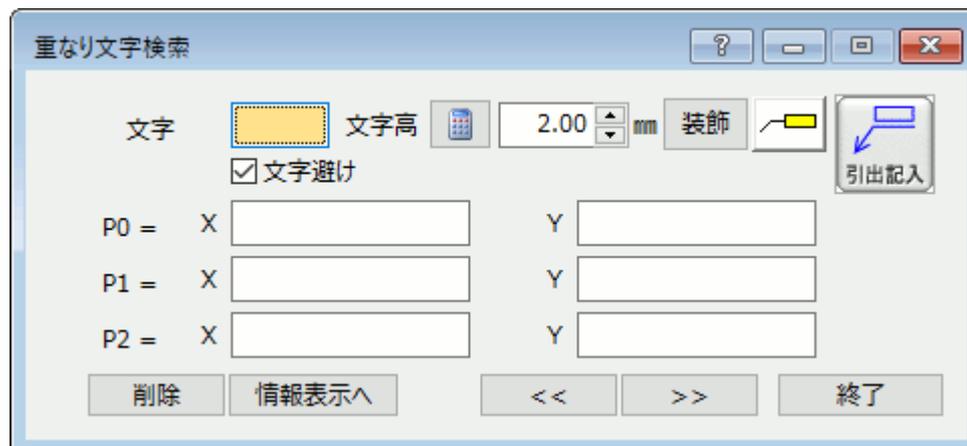


編集対象の文字が測点に関連付けられている場合、引き出しの1点目に自動的に測点の座標値が設定されます。

## 重なり文字検索 引出記入対応

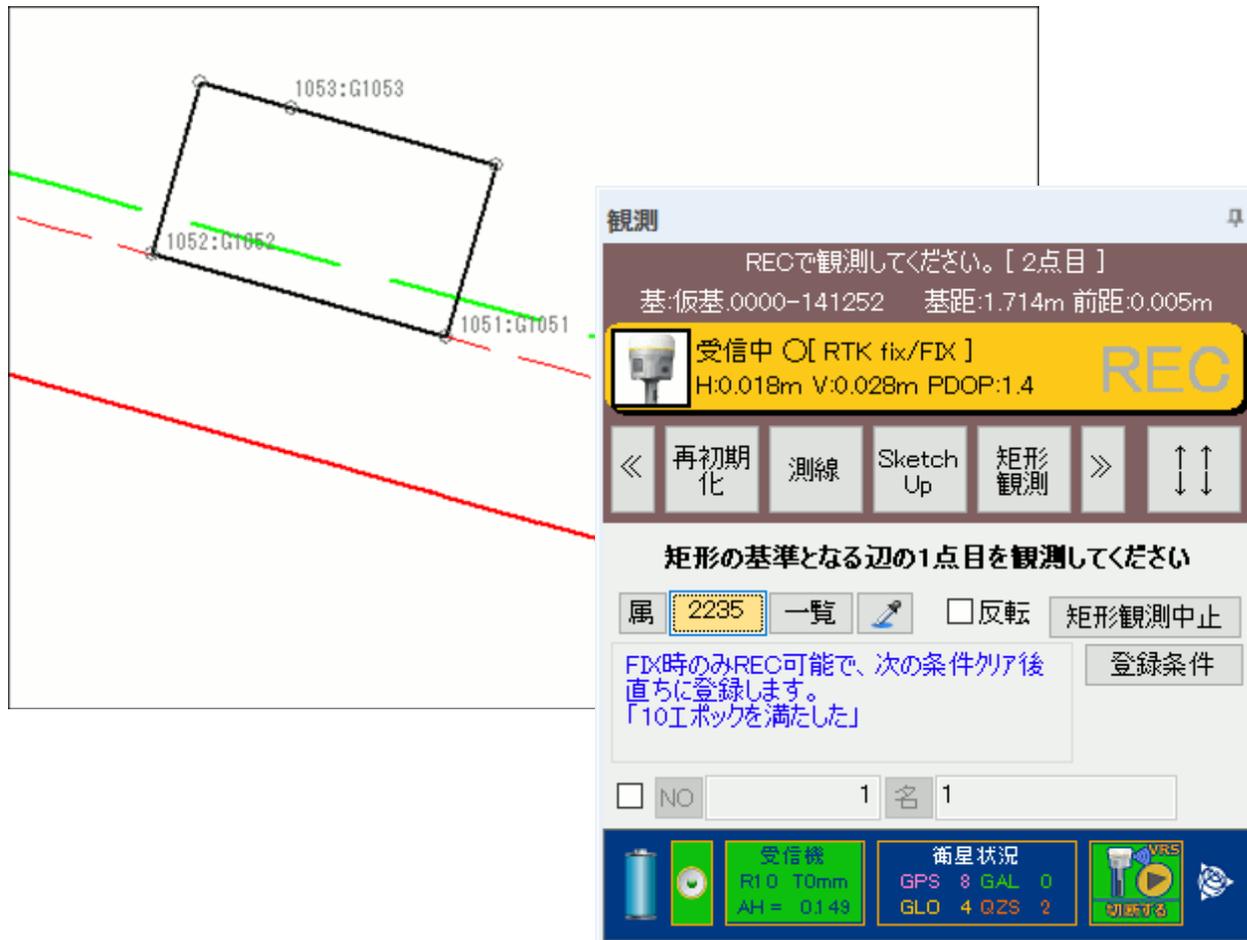
GZ-MAX

編集モードとして「引出記入」の機能を追加しました。



編集対象の文字が測点に関連付けられている場合、引き出しの1点目に自動的に測点の座標値が設定されます。

矩形の3点を観測して、矩形地物の現況データを効率よく登録できる「矩形観測」機能を追加しました。

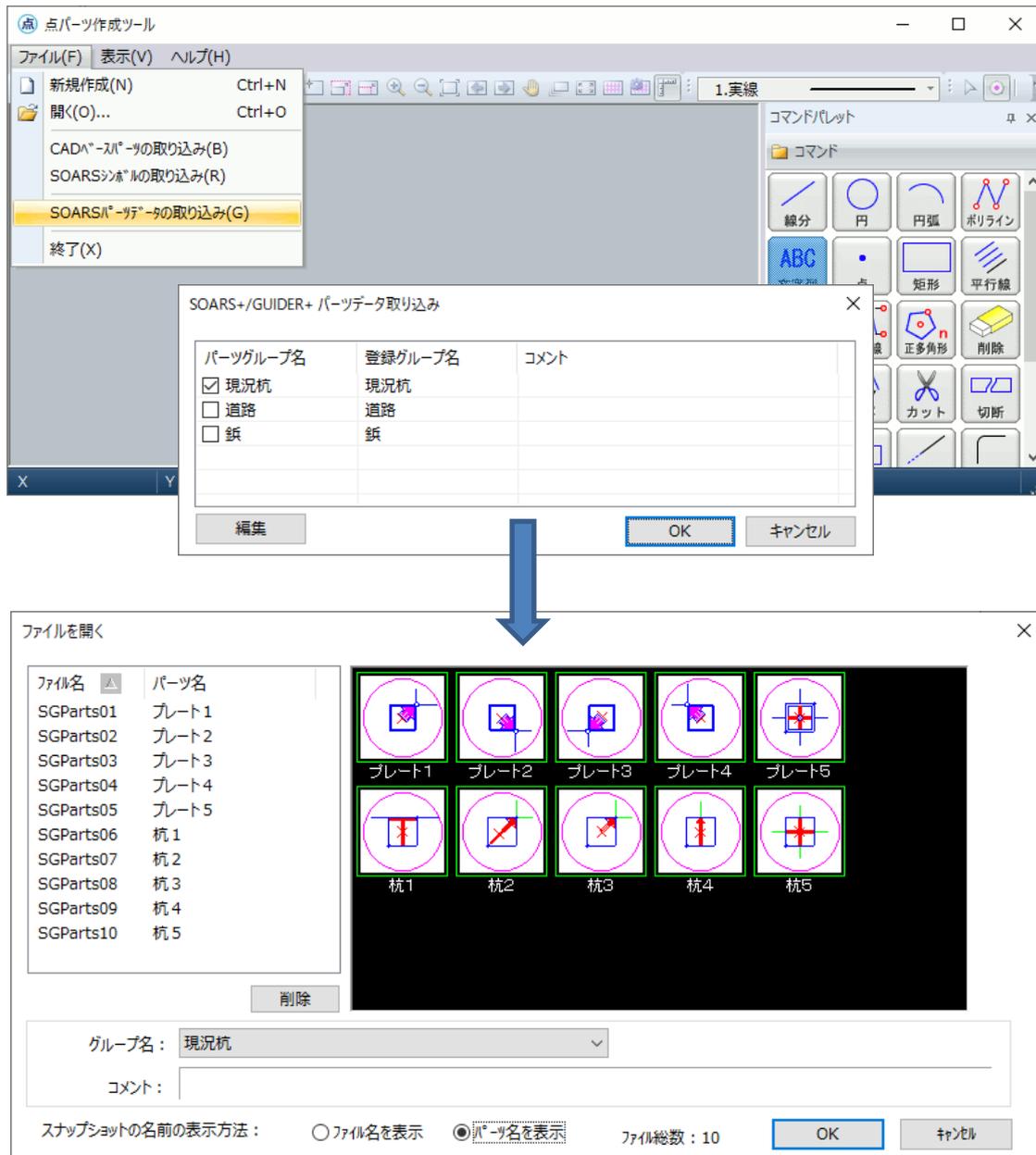


矩形の1辺の両端点と幅となる1点を観測して、正確な矩形地物の現況データを登録します。

## SOARS パーツデータの取り込み

基本機能

弊社の旧システム「SOARS+/GUIDER+」のパーツデータを点パーツとして取り込む機能を追加しました。  
旧システムの素材を TOWISE でも利用できるようになります。



「SOARS+/GUIDER+」の実行環境、または保存されているデータ保守から取り込むことができます。

## GUIDER ZERO データのインポート

測量基本・測量 CAD

GUIDER ZERO の測点 DB に登録されている撮影情報を、TOWISE 座標 DB の撮影情報としてインポートする機能を追加しました。インポートした撮影情報の写真は、成果バインダーに登録します。



## GUIDER ZERO データのエクスポート

測量基本・測量 CAD

TOWISE の座標 DB に登録されている撮影情報を、GUIDER ZERO 測点 DB の撮影情報としてエクスポートする機能を追加しました。エクスポートした撮影情報の写真ファイルは、GUIDER ZERO の現場ファイル (NTG) と同じ場所に保存します。

## ご注意

### ● 動作環境について

GUIDER ZERO Version 2.3.0.0 の動作環境は、以下の通りです。

OS	Windows 10 / Windows 8.1
CPU, メモリ	各 OS が、推奨するスペック以上
HD 空き容量	1GB 以上
解像度, 色数	1,024×768 以上 (1,280×1,024 以上推奨) / 16,777,216 色 (24bit)

64bit OS は、32bit 互換モード(WOW64)での動作となります。

仮想 OS 上での動作は保証いたしません。

Windows 10 では「タブレットモード」ではなく「デスクトップモード」でご利用ください。

### ● データの互換性について

本バージョンでは、図面データ構造拡張は行っておりません。

### ● 標準ユーザー権限での利用について

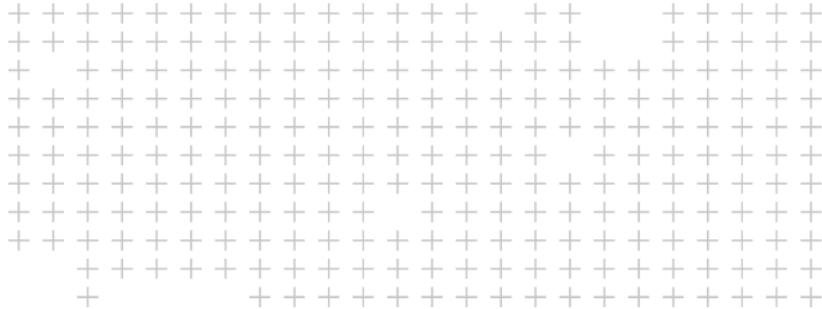
標準ユーザー権限でご利用際は、以下の点にご注意下さい。

- ◆ インストールには管理者権限が必要です
- ◆ 一部の機能の実行には管理者権限が必要です※

※ 管理者権限が必要な機能：

ライセンスモニターのプログラム管理情報の更新





## 改良内容のご紹介

